

## 29年度狛江市災害対策本部訓練について

11月18日(土曜日)午前6時から狛江市災害対策本部訓練を実施しました。

今回の訓練は、勤務時間外に大きな地震が発生したという想定で、「限られた職員しかいない中で、いかに災害の初動対応をおこなうか」を重点とし、訓練参加者に事前にシナリオを明かさな「ブラインド方式」で訓練を実施しました。

勤務時間外に災害が発生した場合、近くに住む職員から順次集まることになるため、その限られた職員だけで、地震発生直後に優先すべき災害対応をおこなう必要があります。

狛江市では、狛江市事業継続計画(BCP)や狛江市震災対応マニュアルを整備しており、災害時に優先すべき業務についても整理をしていますが、どのようなシナリオかも分からない中、限られた職員だけで訓練を実施したことで、非常に実践的な訓練を実施することができたと思います。

## 【参考】今回の訓練参加者

役割	参加人数
災害対策本部長・副本部長・本部員 (市長・副市長・教育長・部局長・消防団長・安心安全課長) ※市民生活部長不参加	13名
災害対策本部事務局 (安心安全課・職員課・秘書広報室)	21名
各部参加者(管理職・本部連絡員) ※管理職は30分以内に参集可能な職員のみ	44名
コントローラー (安心安全課+総務部応援)	4名
合計(消防団長含む)	82名

## ○今回の訓練の時間別参集者

30分未満に到着	30分以上1時間未満で到着
55名	12名